

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 2 年 12 月 8 日

番号	1	質問者	嵯峨山 博	タイトル	住み続けたいまちを築け
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	多次市政について	(1) 多次市政となり 3 期 12 年が来年 5 月 7 日任期満了となります。この間、子育て支援の充実強化、朝来市本庁舎の建設など積極的な市政運営をされてきましたが、3 期目を含めた総括をお伺いします。 (2) 本市の残された課題は何かお伺いします。 (3) 第 2 次総合計画を推進するため、また新たに第 3 次総合計画を策定、推進するために 4 期目を目指されるのかお伺いします。			市 長
2	教職員の人材確保について	(1) 文部科学省が、2021 年度から公立小中学校の全学年で学級規模の上限を 30 人とする「30 人学級」を導入した場合、教員を 8～9 万人増やす必要があると試算しているが、10 年ほどかけ退職教員の協力も考えている。本市として対応をどのように考えるかお伺いします。 (2) 新型コロナウイルスで休業していた学校再開に対し休業中の学習の遅れを補うため手厚い指導ができるように政府は 5 月に予算を盛り込み、本市も学習指導員を配置したが、人員の確保に苦労があったのではないかと。 (3) 退職された教員の協力を今以上にいただく時期がくる。教員免許更新をしなければ、現場協力ができない。そういった方々が教育現場に協力をいただける仕組みを早急に考える必要があるのではないかと。			教育長
3	離職問題について	(1) どの企業においても、若者の離職が問題視されている。特に採用から 3 年以内に離職する若者が多いと言われているが、当局の状況をお伺いします。 (2) 職員採用は市内、市外に関係なく採用されているが、離職について市内、市外の割合はどのようになっているか。お伺いします。			市 長

	(3) 離職されることにより生じるデメリットがある。教育コストの無駄、新たな人材確保が難しいなど、離職に対する改善策をどのように考えるか。 (4) 本市においても若者の市外への流出が進んでいる。職員採用について高校卒業生の採用がなされているが、地元の若者を多く採用するなど採用方法の見直しを行ってはどうか。	
--	---	--

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 2 年 12 月 8 日

番号	2	質問者	能 見 勇八郎	タイトル	多次市長の業績と残された課題
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	人口問題について	(1) 市長の合併以後の業績をあげれば枚挙にいとまがないくらいである。しかし、先日の市政 15 周年記念式典でご本人も言われたように、人口は毎年 4 百人以上、15 年間で 6 千人以上も減少している。本市だけでなく日本全体が人口減少期に突入しており、本市だけでどうこうできる問題ではないかもしれないが、どう思われるか。 (2) 農業、工業、商業、観光業など様々な産業の活性化が当然必要と考えられるが、どのような構想を持っておられるか。			市 長
2	個別の地域、施設等の活性化について	(1) 朝来市医療センターは 180 人入院可能であるが、今日 100 人程度のベッド数の利用にとどまっている。市民の利用を増やすため、どのような対策を考えられているか。 (2) 一本柳周辺は市民生活の中心的な拠点であるが、近年大型店の撤退などがあり、活性化が不可欠と考えられるが、どのような構想を持って対応されるか。 (3) 新庁舎の建設は大きな業績と思われるが、ただ旧和田山町役場の地に建設された結果、一本柳周辺と距離があり、中心地の分裂が生じ、市全体の中心部の活性化にマイナスの影響を与えていると思われる。この点、市長はどう考えられるか。			市 長
3	今後の市の経営について	(1) 合併から、はや 15 周年を迎えた。合併協定を指針として旧 4 町を一体的に統一し、新市としてまとめあげることがこの 15 年間の目的であったと思われる。昔から 15 歳になれば元服し、大人として人々は自分で自分の未来を切り開いてきた。本市もそういう時期に達したと考えるべきでないだろうか。新しい未来に向け踏み出すときでないかと考えるが、市長のお考えはどうか。			市 長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 8 日

番号	1	質問者	太 田 茂	タイトル	元気な交流文化都市へ
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	第 3 次朝来市総合計画について	(1) 第 3 次朝来市総合計画が策定されようとしていますが、第 2 次総合計画の課題・評価点はどのようにお考えか問う。 (2) 第 2 次総合計画の重点プランである「メイドイン朝来プロジェクト」で、ふるさと回帰人材の育成、雇用の創出、既存産業の活性化などが記述されていますが、このプロジェクトの現状認識を問う。 (3) 本市の明確なまちづくりの方向を示すことが必要と思うが、現在の「あなたが好きなまち・朝来市」から新たな将来像に変更するお考えはないか問う。 (4) 第 2 次総合計画には、道路網計画、土地利用計画の記述がない。特に土地利用計画は、開発と保全を示す重要な計画と考える。第 3 次総合計画に記述することについて問う。			市 長
2	経済振興策について	(1) 本市経済の市内生産額と総需要額は、それぞれいくらかと想定されているのか問う。 (2) 経済成長戦略によれば、各業種の中で、従業員数、生産額においても、小売業の比率が高い。 しかし、経済成長戦略では、小売業・沿道サービス業の活性化対策についての記述は少ない。本市における小売業などへの今後の活性化策を問う。 (3) 現在策定されている、産業団地の造成検討状況について問う。			市 長
3	支所の活性化策について	(1) 合併から 16 年目となったが、行政組織として支所機能を縮小し、本所機能を強化する中央集権的な行政運営がなされてきたと考えるが、このような行政運営について所見を問う。 (2) 広大な面積の本市では、中央集権的な行政運営は困難ではないか。支所の分散・分権型の行政運営を検討してはどうか問う。			市 長

	(3) 支所機能を強化するために、支所に一定程度の予算と人員を新たに付与して、機能強化を図ってはどうか問う。 (4) 和田山地域振興課の機能強化を図ることについて問う。	
4 国・県の観光施設の誘致について	(1) 但馬地域の県観光施設は、北但に集中している。本市には、県立の観光施設が無いが、市長は県又は国の施設を誘致しようと働きかけをされているか問う。 (2) 誘致の働きかけがなければ、何も誘致できない。国・県の施設誘致は、本市の活性化にとって重要であり、今後、働きかけを行うか、また、何か誘致する思いがあるのか所見を問う。 (3) 県立の公園の誘致活動の取組について問う。	市 長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 8 日

番号	2	質問者	足 立 義 美	タイトル	公共施設再配置を問う
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1	計画説明会・ 公共施設再配 置計画につい て		(1)	10 月中旬に開催された説明会には 4 会場で 198 名の参加者があり、会場では 25 の質問があったようですが、参加者数、質問数について、市長はどのように評価されているのか、お尋ねします。	市 長 教育長
			(2)	参加者の多くが高齢の男性で、アンケート調査の回収では、若者や女性が少ない。この結果について、市長はどのような感想をお持ちですか。	
			(3)	説明会で出された意見の内、主なものはどのようなものですか。また、今後これらの意見をどのように再配置計画に反映、活用しようとお考えですか。	
			(4)	「あさご未来会議」における貴重な意見等は、再配置計画にどのように反映されてきたのですか。また、今後どのように生かされますか。	
			(5)	令和元年に開催された公共施設を考える市民ワークショップの結果は、再配置計画にどの程度反映されたのですか。	
			(6)	学校教育施設は、面積が大きく、再配置計画を考える場合、避けては通れません。子を持つ親にとっては、重要な問題です。早期に検討の場を設けるべきと考えますがいかがですか。	
			(7)	再配置計画では、施設使用料の見直しが検討されるようですが、値上げに対する、市の基本的な考え方はいかがですか。	
			(8)	延べ床面積を 40 年間で 4 割削減するとなっています。今回の計画通りに推移すると 10 年後には何%程度の削減になりますか。	
			(9)	市民一人当たりの公共施設延床面積を全国平均に合わせるには、延べ床面積を 40 年間で 38%削減する必要があるとのことですが、今後、全国の自治体で再配置が行われるため、38%削減しても全国平均に近づかないのではと考えますがいかがですか。	

	(10) 再配置計画は、パブリックコメント等を踏まえ、確定すると思いますが、素案についてどの程度変更可能と考えておられますか。また、今後10年間でどの程度の見直しが考えられていますか。	
2 公共施設再配置計画策定の経緯等について	(1) 通常、計画を策定する場合コンサルティング会社に発注し、特色等を加筆修正する場合があると思いますが、本計画に関しては、本市独自で最初から練り上げたという理解で間違いないでしょうか。 (2) 朝来市公共施設等総合管理計画策定後、見直しや新たな課題が生じていませんか。 (3) 全庁横断的な組織を構築するとされていますが、構築されたのでしょうか。また、職員の意識醸成等を目指し、研修会は開催されましたか。 (4) 施設情報のデータベース化を進めるとされていますが、いかがですか。また、マネジメント支援システム(仮称)を構築することを検討するとなっていますがいかがですか。 (5) 今年度中に再配置計画は策定されますが、これで10年間は、再配置計画に関し、特に何もしなくていいということにはならないと思います。策定後にどのような見直し等を行う予定ですか。	市長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 8 日

番号	3	質問者	西 本 英 輔	タイトル	消滅しない自治体を目指せ！
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 朝来市は「何のまち」か			(1) 全国各地には「〇〇のまち」と呼ばれる自治体がある。例えば、近隣の豊岡市は「鞆のまち」と呼ばれており、さらに「演劇のまち」という側面も持とうとしている。かつて本市でも、特に旧和田山町は「発条のまち」「家具のまち」と呼ばれていたが、現在の朝来市は何のまちと言えると考えるか。		市 長
			(2) 「〇〇のまち」というキャッチフレーズはストレートに分かりやすく、その自治体の特徴や名産品、名物などを伝えることができる為、経済振興や観光振興等のPRに役立てられていることが多い。 (1)にて、「ある」とのご答弁であれば、本市ではそれをどのように施策に反映、活用し、今後においてどのように発展させる考えか。また、「無い」もしくは「多すぎて特定できない」のであれば、アンケートなどで市民から広く募集し、それらを包括的にPRする施策を実施してはどうか。		
2 コロナ終息後を見据えた観光施策を			(1) アニメ「F r e e !」のロケ参考地となったことから、鳥取県岩美町では観光協会が主体となり、作品とのコラボキャンペーンやイベントが開催された。それにより、いわゆる聖地巡礼を目的として日本各地から観光客が当地を訪れている。 本年4月に市内の観光協会が合併され朝来市観光協会が発足したが、コロナ禍で、またコロナ終息後を見据え、市として観光協会とどのように連携した観光施策を実施する計画か。そして、それは観光協会合併前とどう違うのか。		市 長
			(2) コスプレの経済規模は衣装の国内出荷ベースだけで 350 億円といわれており、また人気コスプレイヤーの I n s t a g r a m のフォロワー数は 140 万人を超えている。また、コスプレは国内だけの文化ではなく、海外でも多くのファンがおり、特にフランスや台湾、アメリカなどでは日本のアニメやゲームのコスプレイベントが開催されるほどである。それらから分かるようにコスプレという分野には潜在的なポ		

	テンシャルを秘めている。 一昨年には国の重要文化的景観に指定されている旧生野町で、また昨年には日本遺産に認定されている神子畑選鉱所跡でコスプレイベントが開催され、好評であったようである。このようなイベントが開催されたことを把握されているか。また、把握されているのであれば、どのように評価されているか。	
(3)	(1)で取り上げた岩美町の場合はロケ参考地となった為に聖地となっているが、例えば、社会現象となっているアニメ「鬼滅の刃」ではたまたま名前が同じであるだとか、雰囲気が似ている場所など、モデルとなっていない場所の多くが聖地となっている。それらは集客を行ったわけではなく、そこを訪れた第三者、特にコスプレを楽しむ者がSNSで発信したことで火が着いている。 本市にも素晴らしい名所、景勝地があるのだから、コロナ終息後に観光客誘致のスタートダッシュがきれるよう、それらの者が訪れ、国内外にSNSで発信してもらいやすい観光施策を実施する考えはあるか。	
(4)	旅の醍醐味といえば、観光、人との触れ合い、宿の趣などの他、グルメも大きなウエイトを占め、時にそれがその自治体へ旅をする目的の1つとなることもある。私自身は岩津ネギではないかと考えるが、他自治体にはない、本市が誇る唯一無二の名物は何か。	
(5)	その名物の消費量は、市内外でそれぞれどのくらいか。また、今後の展望は。	
(6)	その名物はどのくらいの市内の飲食店で食すことができ、どれだけ観光客に周知できているか。	
(7)	かつて、アニメ「サザエさん」のオープニングや、Google、プレミアムボスのテレビCMで竹田城跡が紹介され、これにより空前の「天空の城・竹田城ブーム」が起きたように、メディアの力にはすさまじいものがある。観光施策として、本市の名物を有名なテレビ番組に取り上げてもらえるように、またアニメや小説、漫画などのモデルやロケ参考地となるよう働きかけたことはあるか。あるのであれば進捗状況はどのようなものか。ないのであれば、働きかける考えはあるか。	

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 9 日

番号	4	質問者	浅 田 郁 雄	タイトル	市民にやさしい生活を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	下水処理場に 流入する油の 対策について	(1) 一般家庭及び飲食店等事業所から下水道へ排出される油の量はどれくらいあるのかお伺いします。 (2) 油が流入することにより、下水処理場等で支障はないのかお伺いします。 (3) 一般家庭及び事業所に対応して啓発及び指導はされているのかお伺いします。 (4) 事業所における油の処理業者は市内にどれくらいあるのかお伺いします。			市 長
2	朝来市プレミアム付商品券について	(1) 新型コロナ対策事業としてプレミアム付商品券事業を行なっているが現在の状況をお伺いします。 (2) 商品券の換金については、月に 2 回と言うことであるが事業所からはもう少し柔軟に対応して欲しい声があるが換金について柔軟にすることは可能かお伺いします。 (3) プレミアム付商品券事業については、市内経済を回すことで有効策と考えるが、今後消費の還元対策として商品券事業を展開する考えはないかお伺いします。			市 長
3	学生のカバンの重さについて	(1) 中学生のカバンの重さについて、生徒の負担を軽減するための取組の進捗状況をお伺いします。 (2) 小学生のカバンの重さは、どのくらいかお伺いします。			教育長

4 通学路で歩道のない所について	(1) 市内の通学路で歩道のない所はどれくらいあるのかお伺いします。 (2) これまでに交通事故はないのか、又事故のないようにどう対処しているのかお伺いします。	市 長 教育長
5 総合スポーツ施設の建設について	(1) 進捗状況をお伺いします。 (2) 公共施設再配置計画を考えながら、今後共に考える必要があると思うがお伺いします	市 長
6 朝来医療センターのMRI設置について	(1) 進捗状況はどうかお伺いします。 (2) 医師が不足しているが、その後、医師の確保はどうなっているのかお伺いします。	市 長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 9 日

番号	5	質問者	鈴木逸朗	タイトル	運営方針改定、国保はどう変わる
質問事項		質問要旨			答弁を求める者
1	兵庫県国民健康保険運営方針の改定について	(1) 国民健康保険運営方針の改定は、いつ、どこで、どのように行われるのか。 (2) 「第 3 章 市町における保険料の標準的な算定方法」に、「第 2 節 保険料統一と医療費適正化等のインセンティブ確保方策」が加えられている。この内容はどのようなことか。 (3) 改定によって、本市の国保加入者にどのような影響を与えるか。 (4) 市としてはどのような意見を述べたのか。 (5) 同じく第 3 章、第 3 節に、「8 子どもの均等割保険料」が加えられている。市としてどのように考え、取り組むのか。			市長
2	困難を乗り越え、子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう	(1) 少人数学級を求める声が広がり、文科省は来年度予算の概算要求に「事項要求」として盛り込んでいる。教育長はどのように受け止めているか。 (2) 「市立学校等のあり方に関する方針」の見直しが、昨年度より取り組まれている。進捗状況はどのようなになっているか。 (3) 見直し中心点の議論の状況と方向性は。 (4) 公共施設再配置計画(案)市民説明会での、「学校施設の再配置は避けては通れない…」との回答内容は、適切であったか。			教育長 市長
3	種苗法改定について	(1) 種苗法改定で、農家の自家増殖が禁止される。どのような内容なのか。 (2) 本市の農業と市民にどのような影響があるのか。			市長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 9 日

番号	6	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	くらしの安全と安心を守る
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	災害情報の収集と発信について	(1) 市には住民生活の安心・安全を確保すべき責務が課せられており、災害等の発生に際し、該当地域住民はもとより、市民や市外で情報を求める関係者から、素早い情報収集・把握と情報提供・周知が求められている。豪雨による水害の危険を知らせる避難情報を発令するための、河川水位や降雨状況などの関係情報を、どのような手段で収集されているか伺う。 (2) 内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」によれば、「避難勧告などの発令に直結する情報を、首長が確実に把握できるような体制を構築すること」が求められている。避難情報の適切な発令の必要に照らし、十分な情報収集の体制がとられているか伺う。 (3) 本市が締結している災害時応援協定等の中で、情報の収集、発信に資する協定等があるか伺う。 (4) 電気やガスなどのライフラインに関わる事業者との間の情報連携は、災害時に限らず平常時においても、市民生活の安全・安心の観点から重要である。 ①現在どのような連絡体制をとっているか伺う。 ②スマートメーターの導入が進んでいるが、本市における普及の状況を伺う。 (5) 収集・把握した情報は、情報処理を経て、市民や関係者に適切に発信、広報されることが重要である。 ①情報伝達手段は多重、多様であることが必要だが、現在どのような伝達手段を用意しているか伺う。 ②市民からの問い合わせ（電話、メール等）への対応は、どのようにされるのか伺う。 (6) 近年、災害時の情報収集・発信の手段として、SNS が積極的に利用されるようになっているが、本市での取り扱いについて伺う。			市 長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 9 日

番号	7	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	多次市政 12 年間の総括を！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	多次市政 12 年間の総括について	(1) 多次市政は来年で 12 年間の長きに亘ることとなったが、その総括が必要と私は考える。この 12 年間に何が実現出来て、何が実現出来なかったのか、伺います。 (2) これからの本市の未来を主観的にではなく客観的に俯瞰したときに何が必要であると考えておられるか、私情を排したご所見を伺いたいと思います。			市 長
2	公共施設再配置について	(1) 公共施設再配置計画【個別施設計画】において、譲渡及び廃止とされている建物が非常に少ないが、朝来市公共施設再配置基本計画ではその目標を「公共施設の延床面積を 40 年間で 4 割削減」としている。今回の再配置計画で延床面積は幾ら削減されるのか、伺います。 (2) 朝来市公共施設等総合管理計画ではその計画期間を、「平成 28 年度（2016 年度）から 37 年度（2025 年度）までの 10 年間とし、総合計画の改定や取り組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。」としているが、中間見直しの視点が欠落している。今後も公共施設の再配置を恒久的に続けていくことがこれからの行政には必然的に求められている。そうした中で、10 年を一つの区切りとしながら、その他の見直しを随時見直しに止めておくだけでは公共施設の再配置が行政にも市民にも根付いていかないことは容易に想像できる。そこで、中間見直しを 5 年区切りとして行う仕組みの導入が必要であると考えますが、ご所見を伺います。			市 長
3	公文書管理条例の制定について	(1) 市公文書管理規程第 1 条「市の文書を系統的かつ有機的な制度として維持し、その書記的事務の能率化を図り、併せて関連事務の合理化及び近代化を促進するため、文書の取扱い及び管理について必要な事項を定めるものとする。」には公文書管理法第 1 条「その諸活動を現在及び将来の国民に説明する責務			市 長

	が全うされるようにすることを目的とする。」が求める目的が欠落している。また、同法第4条では職員に文書作成義務を課しているが、同規程には文書作成義務自体が存在していない。これでは十二分に市民への説明責任を果たしているとは言い難く、後世の歴史的な検証も危うくしている現状にあることから、市公文書管理条例を制定すべきと考えますが制定する考えはあるか、伺います。	
4 和田山駅自由通路概略検討調査について	(1) 和田山駅自由通路概略検討調査は単なる自由通路の検討に留まらず、和田山駅前再開発の検討も必要である。その際には、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）を始めとしたPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）、いわゆる官民連携が必要であると考えますが、ご所見を伺います。	市 長
5 認知症高齢者位置検索システム助成事業の創設について	(1) 介護保険サービスの1つである福祉用具貸与には「認知症老人徘徊感知機器」というものがありますが、GPSやビーコンを利用した発信器型については介護保険の対象とはなっておりません。そこで、認知症高齢者位置検索システム助成事業の創設をすべきと考えます、この問題は市内でも死者が出ていることから早急に実現させるべきと考えますがどうか、伺います。	市 長
6 総合（生活）アプリの提供について	(1) 東根市ではスマートフォンを活用した親子手帳・ごみ・防災コンテンツからなる総合アプリケーション「東根 Living」を提供しているが、すでに民間ではアプリケーションでの情報取得や予約などが主流となっている。そこで、子育て・防災・交通・教育・図書館・ゴミ・健康などの市総合（生活）アプリケーションの提供を検討すべきと考えますがどうか、伺います。	市 長

7 シティプロモーションについて	(1) 市のシティプロモーションの提唱者は私であると考えておりますが、私はその目的を市の外部へのプロモーションとして想定しておりました。しかし結果的に市のプロモーションは市の内部へのプロモーション、いわゆるシビックプライドという奇を衒った外連に重きを置いたものになってしまいました。私はシビックプライドも否定はしませんが、シティプロモーションの本来の目的である外部へのプロモーションを促進させれば移住・定住政策や観光政策に多大な好影響を与えることになることから、改めてシティプロモーションの考え方に外部へのプロモーション機能の充実を図り、それに付随した施策の実施を求めたいと考えますが、ご所見を伺います。	市 長
8 引きこもり対策について	(1) 引きこもり対策において重要なことは、自立に向けた包括的な支援であります。自立に向けて御本人と御家族に寄り添う支援を行うとともに、自立に向けて御本人又は御家族が望んだ場合には借り上げ家賃の支援が必要であると考えているが、ご所見を伺います。	市 長
9 新型コロナウイルス感染症について	(1) 冬季に気温が下がり空気が乾燥し、新型コロナウイルス感染症の再再流行が懸念される中、本市や近隣自治体に感染が蔓延することも想定しなければならない。そこで、学校の休校や閉校などについて、どのように考えているのか。また、そうした事態になった場合のリモート下での授業を行うなどの環境整備は整っているのか、伺います。	教育長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 9 日

番号	8	質問者	上 田 幸 広	タイトル	SDG sで未来を拓こう
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 SDG sについて			(1) 今日までのSDG sの取り組みについて ア. 2018 年 9 月定例会ではSDG sについて各種計画や施策に反映していくと答弁されているが現在までの取り組みの現状について伺う。 イ. 市職員や市民への周知と広がりについて伺う。 (2) 今後のSDG sの取り組みについて ア. 第 2 期朝来市創生総合戦略においてSDG sの取り組みを進めると記載されているが具体的な取り組みについて伺う。 イ. 第 3 次朝来市総合計画にSDG sの視点を入れるべきと考えるが御所見を伺う。 ウ. SDG sの目標 13「気候変動に具体的な対策を」において多くの自治体が「気候非常事態宣言」を表明し温暖化対策などに取り組んでいる。本市においても同様な宣言をし温暖化対策を行うべきと考えるが御所見を伺う。 エ. 「朝来市地球温暖化対策実行計画」では、行政の温暖化対策が計画されているが、主な対策の進捗状況を伺う。 オ. SDG sの目標 12「つくる責任 つかう責任」では、食品ロスを減らす取り組みも目標となっているが本市の取り組みについて伺う。 カ. 「人・物・自然」を大切に作る心を養う市民と協働の「もったいない運動」を市として取り組んではどうか御所見を伺う。 キ. 未来を生きる本市の子ども達の為にSDG sの理念をより積極的に活用した「SDG s 未来都市」を目指すべきと考えるが御所見を伺う。		市 長
2 キャッシュレス決済の普及について			(1) 市役所内や市有施設、朝来医療センターでの手数料、利用料、診察料等の支払いへのキャッシュレス決済の現状について伺う。 (2) 市税の納付について、スマホ決済やQRコード決済等も含めたキャッシュレス決済を導入すべきと考えるが御所見を伺う。		市 長

3 ふるさと住民票について	(1) 市として関係人口を増やす取り組みの現状について伺う。 (2) ふるさと納税の申請者を対象に「ふるさと住民票」を発行し関係人口を増やす取り組みをしてはどうか御所見を伺う。	市長
----------------------	--	-----------

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 10 日

番号	9	質問者	森 田 龍 司	タイトル	朝来の活力あるまちづくりを拓く
質 問 事 項		質 問 要 旨			答弁を 求める者
1	G o T o トラベルによる市内観光への効果について	(1) ここ数か月の竹田城跡への入込客数についてお伺いします。 (2) これまでの自粛から出かけたという衝動に G o T o トラベルが重なり、多くの人が観光に出かけていますが、竹田城跡に対する G o T o トラベルの影響・効果についてお伺いします。 (3) 竹田城跡は、その神秘的な自然と広い空間により、コロナ禍にあっても魅力的な観光地として、多くの観光客が訪れるには絶好の場所のように思いますが、コロナ禍から観光客の入込客数が急激に増えた事実やその観光客の客層についても変化があったかどうか、お伺いします。 (4) 今回は、G o T o トラベルと雲海の時期が重なり、多くの観光客が竹田城跡に来られましたが、コロナと G o T o トラベル以前の客層と今回の客層との違いがあるかどうか、お伺いします。 (5) 観光客の客層について分析されていると思いますが、その分析内容についてお伺いします。また、この分析から、今後の観光施策にヒントになるようなことがあったかどうか、お伺いします。 (6) 観光客から、例えば「お土産を買う場所がない。食事をするところが見当たらない。」等のクレームはあったかどうか、お伺いします。その他のクレームはどうか。 (7) 竹田城跡に来られた方が、どんなところでお金を使うのか、どんなものにお金を使っているかをお伺いします。 (8) 生野銀山や神子畑選鉱所跡、その他の観光地における入込客数についてお伺いします。同じよう			市 長

	に、美しい自然と大きな空間を持つ観光地として、コロナ禍やG o T o トラベルの影響や効果があったかどうか、お伺いします。 (9) 市内観光を目的に来られた方が多いのか、姫路や城崎などと組み合わせた観光が多いのか、お伺いします。 (10) 今回のG o T o トラベルから宿泊関係は、まずまず盛況であったと聞いていますが、市内の観光業者への恩恵については、どのように把握されていますか。 (11) 今回のG o T o トラベルの効果を、市内の観光業者に反映するために、当局が独自に講じた支援策についてお伺いします。 (12) 特に、飲食関係が、まだまだ厳しい状況ですが、今回のG o T o トラベルの効果は飲食関係にも及びましたか。その状況についてお伺いします。 (13) 第3波が押し寄せて、回復傾向だった観光業界への先行き不透明感が強まっています。政府の観光需要喚起策（G o T o トラベル）の延長に不安はありますが、市内観光地は過密のない空間と美しい自然があり、阪神間からも2時間圏内でリピーターがあるマイクロツーリズム商圈として、多くの方に安心して来ていただける観光地であると思いますが、市長の考えをお伺いします。 (14) こういう表現がよいかわかりませんが、コロナ禍にあっても観光に適している観光地とそうでない観光地があると考えます。市内観光地はこのコロナ禍にあっても、多くの方に安心して来ていただける観光地として適している地域と考えます。あらためて観光地の魅力をアップさせることと、市内の観光地周遊コースを創出して広域的な観光を進めること、そして滞在時間を長くする施策と消費が増大する施策が必要だと思いますが、市長の考えをお伺いします。	
--	--	--

	(15) 具体的な戦略と施策について、市長の考えをお伺いします。 (16) ウイズコロナの時代だからこそ、安心して来ていただけることと、市内観光から地域のおもてなしと交流を深め、お客さまには保養と活力を取り戻すことができる価値の高い魅力づくりを進めていくことが、今後の観光施策の戦略と考えます。コロナ禍における観光地の魅力づくりについて、市長の考えをお伺いします。 (17) 観光業を市内経済の柱の一つにするには、デジタルの活用やホテルや飲食や交通網などの観光業の土台を強くしなければなりません。また、コロナ後の旅行者の変化もとらえて観光施策を大胆に改革していかなければなりません。例えば、木造平屋の建物を増やすために、ホテルや旅館や飲食店に平屋の建物に改修する費用の一部を支援するとか、電動アシスト自転車やカーシェアリングの電気自動車などモビリティの特色を出すなどの戦略が必要だと思いますが、市長の考えをお伺いします。 (18) 観光地経営で大切なのは閑散日対策。竹田城跡なら雲海の時期を除く時期、「冬期や平日」これらの日々や時間の需要を喚起することだと思いますが、今期の冬期閉山について、市長の考えをお伺いします。 (19) 閑散日対策として平日需要を喚起するために、仕事と休暇を組み合わせたワーケーション戦略も考えられます。新たな総合計画には、ワーケーションの観光戦略的な考え方が組み込まれているかお伺いします。 (20) 中国のアリババはＪＲ西日本と連携し、中国のインフルエンサーによる京都・嵐山のバーチャル旅行イベントを１０月に開催、開始１分間で１０万人以上が視聴しました。世界で一番早くコロナから回復した中国では旅行需要も戻っています。また、コロナ収束後に向けた潜在的な需要を掘り起	
--	---	--

	こす動きも出ています。今から大手旅行会社と連携するなどして、インバウンド需要を掘り起こす施策もすすめていただきたいと思います。今後の当局のインバウンド対策についてお伺いします。 (21) 朝来版DMOの行き詰まりを感じますが、DMOの組織化は順調に進んでいるかお伺いします。	
2 朝来市経済はコロナ危機をどう克服するのか	(1) 本市経済はコロナ危機をどう克服するのか。今後の展望についてお伺いします。まず、市内経済の現状をどのように見ておられますか。 (2) 当市においても、年末から年明けにかけて、市内の事業者の融資相談が多くなると予測されますが、これらの追加融資の相談や事業の経営支援に対し、どのように対応されるのかお伺いします。また、資金繰りに対する追加支援については、どうですか。 (3) 今回の商品券は、市内経済の消費喚起に大きな効果がありました。特に、飲食店の商品券も、それぞれの飲食店の売り上げに繋がり消費喚起の効果があったと評価できますが、まだまだ飲食店の現状は厳しく、さらに、第二弾の消費喚起対策が必要です。商品券の販売を検討するべきと考えるが、市長の考えをお伺いします。 (4) 市内の産業構造の強化を図るためにも国との連携を模索し、技術開発支援体制を構築する必要がある。また、市内に自動車関連企業を持つ強みを生かし、サプライチェーンの国内回帰を積極的に進め、市内に自動車部品関連企業の誘致をしていく検討も必要と思いますが、市長の考えをお伺いします。 (5) ネットでの販売が増えるなど消費動向の変化が現れています。また、ウイズコロナの時代の商機を取り込むためのアイデアや新たな産業創出に支援をしていく必要がありますが、市長の考えをお伺いします。	市 長

	(6) 本市は、京阪神や播州と北近畿を繋ぐ結節点であり、この立地を生かした経済圏を再構築することが肝要であります。そのためにも近隣市町と広域的な連携を模索し、播但道は福崎までの2車線化、北近畿道は但馬空港までの2車線化のインフラ整備を早急に推進していかなければなりません。但馬と北近畿の物流拠点として、また商業施設の再構築、近畿圏のどこからも2時間以内の観光地としての魅力づくりなど、新たな産業構造の強化を進めていくことが、コロナ危機を克服し市内経済の活性化への進むべき方向のように考えます。当局におけるコロナ危機の克服と市内経済の活性化策について、市長の考えをお伺いします。また、播但道と北近畿道の2車線化についての市長の考えをお伺いします。 (7) 例えば、市内商店街・小売業・製造業（ものづくり産業）・観光関連産業・食品関連産業などからウイズコロナ社会の産業振興について議論をする場を作ることは考えていないですか。そして議論を進める中で、コロナ危機を克服するための「コロナ危機克服会議」などの設置は検討されていますか。 (8) 朝来市経済成長戦略には、コロナ危機を想定した戦略が策定されていませんが、早急にコロナ危機の克服を踏まえ、新たな朝来市経済成長戦略の策定について、市長の考えをお伺いします。	
--	---	--

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 10 日

番号	10	質問者	藤 本 邦 彦	タイトル	コロナ禍に負けない地域社会を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	コロナ禍による市民への影響は	(1) 市内においてコロナ禍が原因の失業はどのような状況か。また、事業が継続出来なくなった個人事業者についてはどうか。 (2) 失業などがきっかけの成人の「ひきこもり」について把握しているか。コロナ禍の影響はどうか。 (3) このような状況に対し、市はどのように対応しているか。 (4) 祭や行事、地域のイベントなど市民の交流の場も自粛や中止が相次いでいる。孤立している市民、孤独を感じている市民も多い。市はどのように対応しているか。			市 長
2	今こそ、地域社会の力が問われている	(1) コロナ禍の中、改めて地域社会の在り方が問われていると感じる。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎながら地域コミュニティの絆を大切に、地域住民が誰一人孤立することなく支えあえる地域社会。このような地域社会は本市だからこそ、創ることができると考える。 一方で、「行事から事業へ」と言われてきた地域自治組織の目指すべき方向もまた鮮明になった。人を多く集めることを目的としたイベント行事の繰り返しだけでは地域社会の未来は創れない。 地域住民同士が助け合い、いたわり合い、力を合わせて、地域社会を見守り、育て、豊かにしていくことが、本市の未来を創る。コロナ禍による未曾有の危機も地域の新たな力と魅力を創り出す糧としてしまう。そのような力強く魅力ある地域社会を創ることが本市の進むべき方向であると考えます。 ウィズコロナの今、地域の絆の大切さ、力を合わせることの素晴らしさが証明されている。そのような地域コミュニティを育てていくための市としての戦略が重要になってくると思うがどのようにお考えか。			市 長

	(2) 住民同士が支え合う地域コミュニティもまた高齢化が進んでおり、最も重要な課題は若い世代の参加を促し、やがて引き継ぐことが出来るかどうかにある。どのようにお考えか。	
3 全ての子どもたちの笑顔のために	(1) 不登校児童、生徒のための教育施設が計画されているが、どのような構想か。子どもたちにとって魅力的で中身のある素晴らしい施設になることを期待するが、どのようにお考えか。	教育長
4 豊かな自然を未来へ残すために	(1) 第2期朝来市創生総合戦略では、3つの基本目標が掲げられ、そのうちの基本目標3『誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり』のアクションプランにおいて、「生物多様性の保全と持続可能な利用による自然共生社会の実現」として、目標達成に向けたアクション体系が記されている。 これは大変素晴らしい内容であると思うが、現在どのように進んでいるのか、そして今後どのように進めていく計画かお伺いする。 (2) 本市の優れた自然環境を象徴する二つの特別天然記念物、オオサンショウウオとコウノトリ。本市にとって、その生息環境を保全することは大変重要な課題になる。しかし、オオサンショウウオのことは文化財課、コウノトリのことは農林振興課が受け持つといった状態で、その生息環境の調査や保全、大切さや魅力の発信などは十分出来ていないように思われる。 あまりにも貴重かつ優れた自然環境を有する本市においては、本市にふさわしい生物多様性地域戦略を策定し、オオサンショウウオとコウノトリを育む豊かな自然環境を未来に残すための仕組み作り、組織作りを、地域でも、そして行政でも、進めていく必要があると思うが、どのようにお考えか。	市長 教育長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 10 日

番号	11	質問者	岡 田 和 之	タイトル	次期介護保険事業計画について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	核兵器禁止条約について	(1) 2017 年 7 月に国連で採択された核兵器禁止条約は、批准国が 50 カ国に達し、2021 年 1 月 22 日に発効します。市長の感想をお尋ねします。			市 長
2	特別障害者手当について	(1) 特別障害者手当は制度の内容が知られておらず周知が必要です。制度利用に向けてどう取り組むのかお尋ねします。			市 長
3	第 8 期介護保険事業計画について	(1) 計画の策定状況についてお尋ねします。 (2) 総合事業の対象を要介護者にも拡大する政令改正が行われたが、次期計画にどのように影響するのかお尋ねします。 (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる介護報酬の特例措置で利用者負担はどうかお尋ねします。			市 長

第 18 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 12 月 10 日

番号	12	質問者	日 下 茂	タイトル	朝来市の活性化、人口減対策
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	合併後、急激な人口減が続く中、なぜ今頃根源的最優先課題か	(1) 合併前、合併後からの緊急課題の人口減対策がなぜ今頃になって根源的、最優先課題と考えるのか。 (2) 教育移住、子育て支援、職場確保、所得水準の向上施策が必要と考える。市長、教育長の考えは。 (3) 都市並みの生活ニーズは若者に多い。整備する考えはないか。（買い物、文化芸術等）			市 長 教育長
2	人口減対策は反省しても二度とチャンスはない	(1) 第 2 団塊の世代（おおよそ 30 歳代～40 歳代）に注目すべきと考える。今後二度とチャンスはないと考えるが、どのような対策を講じるのか。 (2) 人口増には移住が効果的だが、大企業誘致等の移住施策に対しての市長の考えは。地産・地消、車生活の魅力も移住者政策に有効と考えるが、どう思うか。			市 長
3	地域活力の減少も影響しているのではないか	(1) 地域自治協議会には、一部の住民しか参加しておらず、地域はますます疲弊しないか。検証は。 (2) 自助、共助、公助のバランスが崩れ、公助の放棄に繋がっていないか。市長の考えは。			市 長